



脳梗塞の後遺症に気をつけたい 歯科治療について

団塊世代（第1次）の方々の脳梗塞の後遺症

- ① 運動麻痺（片麻酔：杖を持たないと歩けない）
- ② 感覚障害（神経系の感覚が困難）
- ③ 嚥下障害（飲み込むことが難しい）
- ④ 構音障害（ろれつが回らない）
- ⑤ 高次脳機能障害など

※歯科診療でも注意が必要※



歯科診療や治療で気をつけたいポイント

- ① 一過性脳虚血発作（TIA）：一時的に脳への血流が低下することで痺れやめまい、運動障害、言語障害を起こしてしまいます。ろれつが回らなかつたり、身体の片側に痺れがあつたりして歯ブラシやフロス（糸）舌ブラシを持てなかつたりしますので医療機関の受診をお勧めします。
- ② 脳梗塞後 6 カ月以内は血流が安定しない場合：血液をサラサラにする薬（抗凝固薬：ワルファリンカリウムなど）を使うために抜歯や歯周病外科などの際には歯科医院では常に診ていきます。（お薬は休薬しません）
- ③ 嚥下障害がある患者さんへの対応：歯科チェアを倒しすぎると誤嚥を起こしやすくなるのでSRP（縁下歯石除去）やスクレーピング（縁上歯石除去）中のむせこみや、補綴物装置時には被せ物の口腔内落下に気を付けましょう。

